

2018年8月31日

災害協定 緊急調査

東京都板橋区と災害時の道路陥没防止で協定を締結

2018年8月31日東京都板橋区と、災害時の路面陥没の未然防止及びライフライン損傷の早期発見のための緊急点検（路面下緊急点検）を円滑かつ確実に実施するため、「災害時における応急対策業務に関する協定」を締結しました。これからも地域の皆様の減災活動に貢献いたします。

板橋区 未来をはぐくむ緑と文化のかがやくまち“板橋”

トップページ > 報道発表資料 > 平成30年8月の報道発表資料 > 災害時の路面下緊急点検に特化した応急対策業務に関する協定を締結

公開日：平成30年8月31日
最終更新日：平成30年9月3日

災害時の路面下緊急点検に特化した応急対策業務に関する協定を締結

平成30年8月31日報道発表

板橋区は8月31日(金)、災害時の路面陥没の未然防止及びライフライン損傷の早期発見のための緊急点検(以下、路面下緊急点検)を円滑かつ確実に実施するため、「災害時における応急対策業務に関する協定」を、ジオ・サーチ株式会社(代表取締役社長：富田洋/とみた・ひろし)と締結した。

近年、震度5以上の大規模な地震が各地で発生する中、その地震動により路面下に多くの空洞が発生することが想定されている。この空洞により発生する陥没は、道路上を走行する緊急車両、物資輸送車両等に危険を及ぼすため、けが人の移送、がれきの運搬、受援物資の輸送、仮設住宅用建設資材運搬といった災害時に必要な作業を安全に実施するためにも、路面下空洞の早期発見、補修は喫緊の課題となっている。

そこで区はこれらの課題を解決するため、東日本大震災等、震災時の緊急調査の実績を多数有するジオ・サーチ株式会社と、路面下緊急点検を迅速に実施することを定めた協定を締結することとなった。ジオ・サーチ株式会社と災害時の路面下緊急点検に関する協定を締結するのは、都内の自治体では板橋区が初めてとなる。

ジオ・サーチ株式会社は、路面下空洞探査車を全国に30台所有しており、緊急時にも確実に対応が可能である。さらに、平成25年度及び平成27年度に板橋区道の路面下空洞調査を実施しており、区の特徴や地域性を熟知していることや、既存の調査結果と路面下緊急点検結果を照らし合わせることで、より精度の高い成果が見込まれる。

また空洞の発生は、ライフラインの損傷とも密接な関係があるため、路面下緊急点検の結果を各ライフライン事業者と共有することによって、例えば発災後30日と見込んでいる上下水道の復旧を早め、区民の早期生活再建に資することができるなど、副次的効果も期待できる。

なお、本協定に定める路面下緊急点検の対象は、緊急輸送道路を主とし、道路啓開作業が完了した路線から実施することを想定している。

路面下緊急点検とは

道路区間において地中レーダ探査装置を搭載した路面下空洞探査車等を用いて、地中に電磁波を放射し、電気特性の異なる境界で反射した電磁波を捉えることにより、空洞の可能性のある異常信号箇所を効率的に抽出する。抽出結果を基に、空洞の有無の確認や陥没の危険性を評価することで、陥没事故の未然防止となる。



マイクロ波を照射して異常箇所を発見

この記事に関するお問合せ

土木部計画課 電話：03-3579-2520

http://www.city.itabashi.tokyo.jp/c_news_release/092/092686.html

板橋区ホームページより

日本経済新聞

2018年(平成30年)9月4日(火曜日)

災害時の道路陥没防止で協定

東京都板橋区は災害時の道路陥没を防ぐ事業を進める協定を、建設コンサルタントのジオ・サーチ(東京・大田)と結んだ。陥没の原因となる地下空洞を電磁波で発見する技術を使い、点検する。大規模な地震などが起こった際、救急車や物資輸送車の移動に支障が出ないよう空洞を早期に見つけ補修する。

緊急輸送道路を中心に点検し、地下空洞の探査車を使う。地中に電磁波を放射し反射により空洞の有無を調べる。陥没の危険度を分析し必要に応じて補修する。

点検で得たデータは上下水道を管理する東京都などと共有する方針だ。

2018年9月4日 日経新聞記事



ジオ・サーチ株式会社

お問い合わせ：03-5710-0200 URL：www.geosearch.co.jp/